

‘挑戦’の一部を紹介します

令和5年度はゼロカーボンに向けたキックオフの年とし、啓発事業を中心に取り組みます。

楽しみながら実践 /

ヘチマ・プロジェクト始動

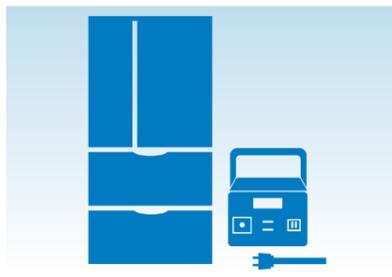


陸の島“鶴ヶ島市”から海を守ります

詳細は裏表紙をご覧ください

節電+手軽に再エネ導入 /

省エネ家電の買換えを支援



省エネ家電の買換え費用の一部を補助します

- 冷蔵庫、LED照明の買換え
- ポータブル蓄電池の購入
- ※ 詳細は決まり次第お知らせします

防災拠点整備の観点も /

公共施設に太陽光発電



公共施設への太陽光発電設備などの導入を調査します

対象
避難所となる学校や市民センターなど

ごみの減量・資源化によるゼロカーボンの推進 /

ごみの減量・資源化を推進

生ごみの削減に取り組みます

5/8(月)受付開始「生ごみ処理器 キー一口」の販売

キー一口とは

国産木材の西川材で製作された箱型の生ごみ処理器。箱の中の黒土(各家庭でご用意ください)のバクテリアを利用して生ごみを分解します。正しく使えば臭いや虫の発生もほとんどなく、夏場なら1週間ほどで分解できます。生ごみが自己処理できるので、ゴミの減量とゼロカーボンに貢献できます。

使い方



種類・販売数

①箱型キー一口：ベランダでも使用できる底付きのもの(高さ70cm×幅90cm×奥行50cm程度)・限定25基

NEW

②直置き型キー一口：畑や庭に直接置いて使用できるもの(高さ40cm×幅90cm×奥行50cm程度)・限定5基

購入について

対象 市税を完納している市内在住の方で、キー一口を良好な状態で維持管理できる方

金額 5760円

申込・受渡方法

窓口申込みのみ

※ 後日、購入決定通知書を送付しますので、窓口にて代金と引き換えにキー一口をお渡します

※ キー一口の製作には少々お時間がかかります

※ お持ち帰りが困難な方は、事前にご相談ください

問合せ先 生活環境課環境推進担当

詳細はこちら



Webでカンタン 捨てない暮らしを応援します

不要品の一括査定ができる「おいくら」をぜひご利用ください。



「おいくら」はこちら

2050年までに温室効果ガスの排出量を実質0とする

ゼロカーボンへ挑戦!

市民・事業者・市が一体となり

「オール鶴ヶ島」でゼロカーボンに取り組むため、「第3期鶴ヶ島市環境基本計画」を策定しました。

問合せ先 生活環境課環境保全担当

第3期鶴ヶ島市環境基本計画

■計画期間 令和5(2023)年度～令和14(2032)年度

■目指す環境像

緑と水と生きものと 持続可能な社会を目指すまち

■温室効果ガスの削減目標

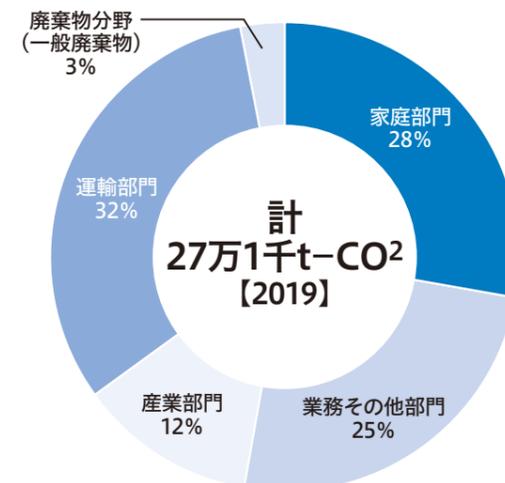
①2030年度の鶴ヶ島市の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%を上回る削減とする。

②2030年度の市役所の温室効果ガス排出量を2013年度比で50%を上回る削減とする。

計画書の詳細はこちら



鶴ヶ島市の温室効果ガス排出量



なぜゼロカーボンなのか
近年、地球温暖化が原因とされる気候変動により、甚大な被害をもたらす自然災害が地球規模で発生しています。国内においても、猛暑や集中豪雨、大型台風など、今までに経験したことのない異常気象が頻発し、私たちの生命や暮らしが脅かされる事態となっています。
日本政府は2020年10月、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現を目指し、2030年の温室効果ガスを2013年度比で46%削減すると宣言しました。

オール鶴ヶ島で
環境省によれば、当市の令和元年の温室効果ガスの排出量は、およそ27万トンとなっており、うち28%が家庭から、37%が事業所などからの排出であり、合わせて全体排出量の半分以上を占めています。
つまり、一人ひとりが脱炭素への取組を進めるとともに、市民・事業者・市が一体となり取り組まなければ目標の達成は困難な状況です。

ボンシティ宣言、③第3期鶴ヶ島市環境基本計画の策定など、ゼロカーボンに向けた推進体制の整備を行い、令和5年度より本格的な取組を開始します。

未来へ、そして子どもたちへ